

令和2年度 年間指導計画を見直す際の参考資料

小学校 第6学年 「図画工作（日本文教出版）」

35時間（70%）

週	領域	題材名	題材の内容	時間数	留意点	
1 ～ 3	A表現 (1)イ (2)イ	想像のつばさを広げて	心の中で思い浮かべたり、考えたりしている不思議な世界を想像し、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、表し方を工夫して表す。	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。</li> <li>イメージが広がるよう、導入で様々な参考作品を提示する。</li> <li>アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。</li> </ul>	
	B鑑賞 5時間			家庭		
3 ～ 4	(1)ア	わたしの大切な風景	日頃の生活の中にある自分にとって大切な風景を見たり思い浮かべたりしながら、そのときの様子や思いに合う形や色の特徴を捉え、工夫して絵に表すことを楽しむ。	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。</li> <li>写真を活用し、屋外等への移動時間を削減する。</li> </ul>	
	絵 【選択】 5時間					
4 ～ 5	A表現 (1)ア (2)ア	動きをとらえて形を見つけて～風をとらえて～	風が吹く場所を探し、どのように風を美しく見せるのかを考え、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、活動を工夫する。	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達との間隔を保って活動する。</li> <li>使用する用具や材料をあらかじめ用意しておく。</li> </ul>	
	B鑑賞 3時間					
5 ～ 6	(1)ア	動きをとらえて形を見つけて～水をとらえて～	水の動きや一瞬の形を、どのように美しく捉えるのかを考え、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、活動を工夫する。	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達との間隔を保って活動する。</li> <li>使用する用具や材料をあらかじめ用意しておく。</li> </ul>	
	造形遊び 【選択】 3時間					
6 ～ 8	A表現 (1)イ (2)イ	くるくるクランク	クランクの仕組みを生かして、動きのある面白いおもちゃなどを考え、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、表し方を工夫して表す。	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>製作する作品の大きさを制限することで、時間削減できるよう配慮する。</li> <li>針金をペンチで曲げる工程を演示することで、クランクの仕組みをしっかりと理解できるようにする。</li> </ul>	
	B鑑賞 6時間					
	(1)ア	1まいの板から	1枚の板材から、用途を考え、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、構造やつくり方を工夫して、生活の中で使えるものをつくる。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>加工がしやすいように、板の厚さなどに留意する。</li> </ul>
	工作 【選択】 6時間	アミアミアミーゴ	使う様子を思い浮かべたり、ひもや紙を織ったり編んだり組んだりしながら表したいことを見付け、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、表し方を工夫して表す。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>製作する作品の大きさや材料の量を制限することで、時間削減できるよう配慮する。</li> </ul>
9	B鑑賞 (1)ア	筆あとと研究所	美術作品の表現の工夫の一つである「筆あと」の特徴を捉え、作者の表現の意図や思いを感じ取り、よさや美しさを味わう。	1		
	1時間					
10 ～ 11	A表現 (1)イ (2)イ	墨で表す	墨と水や用具を使ってできることを試しながら表したいことを見付け、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、表し方を工夫して表す。	2		
	B鑑賞 (1)ア 絵 2時間					
11 ～ 13	A表現 (1)イ (2)イ	いっしゅんの形から	液体粘土で固めた布の形の美しさや面白さを感じ取り、見立てたり、形を生かしたりして、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、想像を広げて立体に表す。	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品の大きさを制限することで、時間削減できるよう配慮する。</li> <li>材料や用具を制限することで、時間削減できるよう配慮する。</li> </ul>	
	B鑑賞 5時間					
	(1)ア	光の形～光のちようこく～	メラミンスポンジに光を当てたり形を変えたりしながら表したいことを見付け、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、表し方を工夫して表す。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。</li> </ul>
13 ～ 14	工作 【選択】 5時間	光の形～かがやく世界～	ストローやペットボトルに光を当てたり形を変えたりしながら表したいことを見付け、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、表し方を工夫して表す。	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。</li> </ul>	
	5時間			家庭		

14 ～ 17	A表現 (1)イ (2)イ	物語から広がる世界	物語を味わい、雰囲気や感じ取った思いが伝わるように、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、画面の構成を考え、表現方法を工夫して絵に表す。	6	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。	
	B鑑賞 (1)ア	感じて考えて	6時間	家庭	・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。	
	絵 【選択】	版から広がる世界	これまでの経験を生かし、自分の思いに合った版に表す技法を用いて、彫りや刷りの効果を確かめながら、形や色などの造形的な特徴を捉え、版に表す。	6	家庭	・製作の手順を示し、見通しをもって活動できるようにする。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。
18	B鑑賞 (1)ア	味わってみよう和の形	古くから親しまれてきた日本の美術に触れ、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、そのよさや美しさ、表現の特徴を感じ取る。	1	1時間	
19 ～ 21	A表現 (1)イ (2)イ B鑑賞 (1)ア	水の流れるように	ガラスが溶けて流れる様子を想像しながら、焼き物にして表したい形を見付け、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、表し方を工夫して表す。	6	家庭	・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。
	立体 【選択】	12年後のわたし	未来の自分を想像し、自分が将来したいことなどを考え、材料や形のつくり方を工夫して、形や色などの造形的な特徴を捉え、夢や願いを込めて立体に表す。	6	家庭	・乾燥に時間がかからない粘土を使用する。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。

### ※時間数の精選方法（例）

○同じ領域の題材を選択して扱う。

・例えば、絵の題材として、「想像のつばさを広げて」と「わたしの大切な風景」のいずれかを選択して実施するなど

○加工に時間がかかる材料を扱うことを避けたり、作品の大きさを小さくしたりして、製作時間の短縮を図る。

○題材によっては、乾燥に時間がかからない、油性ペンや色鉛筆、クレヨンなどの用具を使用する。

○題材によって多様な表現技法を提示することで、児童が選択して製作に臨めるようにする。

○製作途中の相互鑑賞は、鑑賞の視点を明確にし、短時間で言うことが考えられる。

○振り返り（製作した作品の鑑賞等）の活動は、休み時間などを利用し、展示された作品を鑑賞するなどの工夫をすることが考えられる。友達の作品に対するコメントは、作品の名札に付箋紙を貼るなどの工夫をすることが考えられる。

○アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題として扱う。（提出されたアイデアスケッチや設計図などは、「表す」時間の前にチェックし、助言をワークシート等に記入して児童に返す。